

対面リーディング通信

2024年10月1日 発行 第219号（隔月刊）



2024年 10月



記録的な暑さとなった今年の夏、予報では10月になっても例年より気温の高い日が続くようです。夏の疲れもあり、季節の変わり目で体調も崩しやすいこの時期、秋の味覚を楽しんだり、少し涼しい時間に体を動かしたりして、元気に乗り切りましょう。

今月号の主な内容

私のふるさと	憧れのふるさと	吉田 恵子	1
誌上勉強会	声質 その2	木村 謹治	2
寄り道・回り道	スロバキア ワインショップ&バー デュハム	木村 謹治	3
情報発信	秋の日差しと紫外線	福田 直樹	7
情報発信	漢字あれこれ（その22）	澤井 稔	8
お知らせ			9
			10

憧れのふるさと

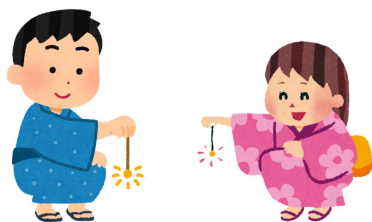
エンジョイ・グッズサロン 吉田 恵子

私は大阪府堺市で生まれ育ちましたが、憧れ続けているふるさと、宮崎県串間市くしまについてお話しします。

宮崎県の最南端に位置する串間市（現在の人口は約15,200人）は両親の故郷で、幼い頃は飛行機やフェリーさんふらわあを利用して祖父母を訪ねていました。



母方の祖父母の家は平屋で、日当たりの良い縁側と芝生の庭がありました。夏には縁側でスイカを頬張り、大勢で花火をしました。家のすぐそばには小川が流れており、よくサワガニを探しに行きました。



地元の人しか知らないような海岸で、キャンプをしたときのあのワクワク感は今でも思い起こすことができます。海で遊んだあとは火を起こして料理をし、波の音を聴きながらテントで眠りにつきました。幼い頃の私にとっては、身近に自然を感じながら思いっきり遊ぶことができる場所でした。

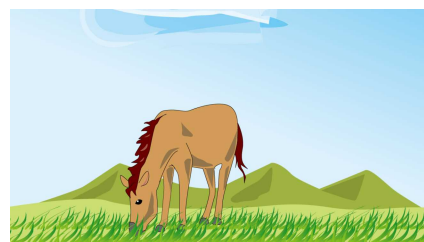
大人になってからも、串間を訪れるたびに憧れは増すばかりです。自分で育てた野菜や

飼育するニワトリの産みたて新鮮卵を毎日食べるよと話す母の友人や、退職後に購入した船で釣りに行って、1日中のんびり過ごすよと話す親戚のおじさん。ある時は、コンビニで、知り合いかと錯覚するほど気さくに話しかけてくれる店員さんに会い、幸せな気分になりました。

また、親戚の集まりでは、「うんめかい、食べやいよ（おいしいから食べて）」、「ちょかんきりが出てきてひったまがった（トカゲが出てきてびっくりした）！」などと皆が串間弁で底抜けに明るく話しているのを前に「ああ、この串間弁の輪の中に入りたい！」と何度思ったことか…。周囲の方々に親切にしてもらったことも多く、そんな人柄や生活の豊かさに惹かれるのかもしれない。

福岡まで飛行機に乗って服を買いに行くという宮崎市在住のいとこからは、「串間には何も無いよ」と言われますが、とにかく人が温かくおおらかで、自然豊かで、黒瀬ブリをはじめとする魚介類・野菜・果物など何でもおいしくて、ゆったりとした時間が流れていて…と、私にとっては憧れのふるさとです。

次に訪れる機会があれば、JR日南線のあのガタゴト揺れる電車に乗って、青い海を背みさきうま景に野生の御崎馬が草をはむ都井岬の風景といを見に行きたいです。



対面リーディングの実際 64

－ 声質 その2 －

前回の「声質」では、声の出し方には7種類があることを学びました。

1. ファルセット
2. チェストボイス
3. ヘッドボイス
4. ミドルボイス
5. ウィスパーボイス
6. ボーカルフライ（エッジボイス）
7. ミックスボイス

この7つをうまく使いこなすことで、声質の幅を広げられるようになりますと言われています。が、具体的に何をどう練習したらいいのか分かりませんね。

声を出す行為は、日常会話を始め、歌う、朗読、語り、講演、演説、もちろん対面リーディングなど多方面にわたります。それぞれに適した個別の練習もありますが、ここでは区別することなく考えていきましょう。

腹式呼吸

腹式呼吸は、声を安定させ、力強く響かせるために重要な要素です。

まずは、ゆっくりと深呼吸を行いましょう。胸よりもお腹が膨らむように意識し、ゆっくりと息を吸い込みます。吐くときには、お腹をゆっくりと引き締めながらゆっくりと吐き出します。

この呼吸法を繰り返すことで、腹式呼吸を身につけることができます。腹式呼吸は、声のパワーや音量を増すだけでなく、声のコントロールも向上させます。そして、声の疲れを軽減し、持続可能な声の使用をサポートします。

腹式呼吸には便通の改善／ストレス軽減／リラックス効果／ダイエット／逆流性食道炎

の改善／免疫力の向上など医学的に見た効果もあります。

ただ、無意識に行うことが難しい事や、やりすぎるとめまいを引き起こす事もあります。

喉を開くトレーニング

喉を開くことによって、より豊かで響きのある声を出すことができます。

喉を開くためのトレーニング方法の1つは、ゆっくりと息を吐きながら、口を大きく開けることです。息を吐き切るまで口を開き、喉の奥まで息が通るように意識します。

この運動を繰り返すことで、喉の筋肉が柔軟になり、開放的な声を出すことができます。そして、開放的な喉の状態ですべて声を出すことで、声質を向上できます。

意外と知られていませんが、腹式呼吸には自然に喉を開く効果があります。逆に胸式呼吸は喉が閉まりやすく声が出しづらくなるという特徴があります。例えば胸式呼吸で深呼吸を思いっきり行なって下さい。肩や首周りに力が入ることで喉の力もグッと入って喉が狭くなるのがお分かりいただけだと思います。腹式呼吸を行うことで肩や首周り、喉の力も抜けて、より喉が開きやすくなるのです。

口の開き方を変える

声質を改善するためには、口の開き方も重要です。正しい口の開き方を意識することで、より自然で明瞭な声を出すことができます。

まず、口の開き方には適切な幅があります。口を過度に開けると声が詰まったり鼻声になったりすることがあります。逆に、口を閉じすぎると声がこもってしまいます。適切な口の開き方を見つけるためには、口の幅を調整

しながら声を出してみましょう。

口の開き方を変えるためには、鏡を使って自分の口の形を確認することが有効です。口の開き方や舌の位置を意識しながら練習を行いましょう。

このように、正しい口の開き方を習慣化することで、声の明瞭さや響きが向上します。

1. ファルセットは、息が漏れている弱々しい裏声の事です。柔らかい声質で、優しい雰囲気が出ます。ファルセットを使いこなす事により、普段の話し声よりも高い音域での会話が可能です。うまく利用すれば、普段とは大きく違う声質を手に入れられるでしょう。

上手にファルセットを出すためには、呼吸法や喉を開く感覚などを身につけることが大切です。コツを押さえたトレーニングを行い、きれいなファルセットを出せるようにしましょう。

練習を始める前に、身体をリラックスさせることが大切です。緊張した状態でファルセットを出すと、声帯にも力が入り、きれいな高音が出せません。

ファルセットを上手く出すためには、腹式呼吸が重要です。ファルセットに限らず、正しい発声に欠かせない呼吸法であるため、ぜひマスターしておきましょう。

ファルセットを出す際には、喉を十分に開くことが大切です。喉を開くことで十分な空間が生まれ、高い音域を出しやすくなります。

喉を開くというと、口を大きく開けることをイメージするかもしれませんが、ただ口を大きく開けるだけでは、喉は開きません。喉を開くためには、舌根（舌の根元部分）を下げる必要があります。

喉を開く感覚がよくわからない人は『あくび』をイメージしてみましょう。あくびをするときは、舌根が自然に下がります。試しにあくびをしてみると、喉の奥が広がる感覚を感じられるはずです。

声帯が開きやすい「フー」「ホー」といった声を出す練習をして、喉を開く感覚を掴んでみましょう。

ファルセットは、頭の上部、特に頭の高から声を出すイメージで歌うと、きれいな声が出しやすくなります。

出しやすくなります。

口を「お」の形にして、頭に響かせて頭の高から声を出すイメージで「フー」と発声すると、柔らかく繊細な声が出せます。

このとき、大きな声は出そうとしなくて大丈夫です。自分の出しやすい声の大きさを、頭の高から声を出すイメージを持って声を出します。声が頭に響く感覚が掴めるようになるまで練習を繰り返しましょう。

「O」や「U」など、出しやすい母音の形で安定したファルセットが出るようになったら、他の母音でも練習してみましょう。力まず安定したロングトーンを発声することが重要です！

2. チェストボイスは、地声を活用した発声方法です。胸（チェスト）に響いているような声ということから、この名前がつけられました。主に低音域で使われる声で、使いこなせば力強く安定感のある声質を手に入れられます。発声の基礎ともいえる声なので、まず最初に練習するケースが多いようです。

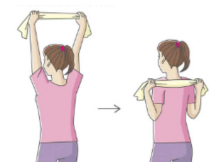
発声の基礎となるチェストボイスですが、チェストボイスを習得する事で様々なメリットがあります。

音量が上がる／喉が枯れにくくなる／高音が出しやすくなる／表現力が豊かになるなど色んな効果があります。その為には**体をほぐすストレッチ**も大事です。

日常生活を過ごしていると、身体は固くなっています。このままの状態でも、声を出しても良い声は出せません。身体をゆっくりとストレッチする必要があります。

方法は色々ありますがその内の一つタオルを使った肩甲骨はがしを紹介しましょう。

まず両手でタオルの両端をそれぞれ持ちます。（椅子に座った状態でも可）タオルを持ったまま腕を上げ、頭の高さに回し、胸を張りながら腕をゆっくり下げます。そしてタオルを持ったまま10秒キープし、腕を元の位置にゆっくり戻します。同じ動作を10回程度繰り返します。大事なことは肩甲骨が動いていることに注意し、肩甲骨を寄せ合うように意識します。



他には、閉じている大胸筋を開く／背筋を伸ばす／首筋を伸ばす／首をゆっくりと大きく回す／上半身を脱力するなど効果があります。いずれも、息をゆっくり吐いて、ゆっくり吸いながらリラックスして行いましょう。

次に大事なのは呼吸です。腹式呼吸を心掛けて下さい。つまり、浅い胸式呼吸ではなく、深い腹式呼吸を行います。

声の源は、呼気が声帯を通過する際に起こる、振動によって生まれます。

声帯は発する声の種類（チェストボイス・ミドルボイス・ヘッドボイス）によって、その形状を変化させます。

これらの筋肉を正しくしっかりと鍛え上げることにより、魅力的なチェストボイスの源を作ります。

声は空気の振動です。この振動を発生するのは、俗にいう「のど仏」の奥にある2枚の声帯です。鼻から吸い込んだ空気が「声門」を通過して吐き出される時、2枚の「声帯」を振動させて音が出ます。音の高さは声帯の長さや厚さで決まる振動数（周波数）に左右され、音量は気流の強さに依存します。

声帯振動で生まれた音源は、共鳴腔（きょうめいこう）で声としての響きを形成します。

声の質は、音源そのものの質と共に、この共鳴腔の使い方決まります。共鳴腔は全部で5つありますが、この中で、声質に最も影響を及ぼすのが咽頭腔です。

この咽頭腔が狭小すると、声は響きに乏しく、金属的で不快な音色になります。

発声時の「力み」や、外喉頭筋の「強ばり」を解消していくことが、とても重要なこととなります。

具体的に理解するのは、なかなか難しいですね。理論は理論として、話す時に常にポイントレを意識するのが大事です。意識するのは、呼吸・姿勢・支えです。これだけで十分です。

話すことは日常的に行うことなので、チェストボイスを鍛えるためには、話し声ポイントレが最適だからです。

3. ヘッドボイスは、強い裏声のことです。強い裏声を出すと頭に響いている感覚になるので、日本語では頭声とも呼ばれています。

ファルセットとは違い、高音域でも息漏れが起きないため、力強い発声になるのです。

ファルセットよりも力強く通る裏声なので、明るい声質が求められるときに有効です。

ヘッドボイスの出し方としては、声帯閉鎖から発声する方法やハミングを使った方法、リップロールを使った方法が考えられます。

ネット上には色々情報を書かれていますが、理解するのが難しいですね。

まあいろいろ書いてきましたが、要約すれば喉頭の位置で、いろいろ遊んで声出してみることです。

どんな声色でもそれは自分自身の声の一部ですから、喉に著しいダメージがなければ、だしてはだめな声はありません。どんどんいろんな声を出す練習をしてみてください。

4. ミドルボイスは、高い声と低い声のバランスが取れた中程度の音域を持つ特徴があります。声優のイメージで言えば、明るく元気なキャラクターや穏やかな役柄、一般的な男性や女性の役割など、さまざまなキャラクタータイプに適用できます。

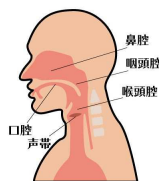
そして、ミドルボイスで放たれる声には明瞭さと自然さがあります。中間的な音域を保ちながらも、言葉やセリフをはっきりと伝えることができ、キャラクターの感情や個性をありのままに表現しやすいです。

発声のコツは、閉鎖を確実に／声区の切り替えに慣れること／表現に幅を持たせる／声帯にかかる負荷に気をつけることです。

まずは声帯の閉鎖を狙って確実にできるようにしましょう。声帯の閉鎖が緩んでしまうと、抜けた弱い声になってしまいますので、どんな高さ、どんな母音、子音でも確実に閉鎖できるように練習する必要があります。

チェストボイス→ヘッドボイスへの移行と、チェストボイス→ミドルボイスへの移行では感覚が違うので、区別できるようにし、切り替えに慣れましょう。

声帯を強めに閉鎖させるため、喉には負担がかかります。発声していると喉がピリピリするようであれば、少し閉鎖が強すぎるかもしれません。



5. **ウィスパーボイス**は、ささやくようなほのかな声で発声される声質を指します。

通常の声よりも静かに語りかけることで、聴衆に近さや感情の深さを伝えることができます。そのため、シーンの緊張感や神秘性を演出する際に使用されることが多く、特に、幻想的なキャラクターや恋愛やドラマチックな場面などにおいて効果的に活用されます。

ウィスパーボイスを出すときは、ただ弱い声や、息が漏れているだけの声にならないようにしましょう。しっかりと声帯を震わせることが安定した声を出すコツです。

息を吐きすぎてしまうと声帯が乾燥しやすくなるため、息が出てしまいやすい人はコントロールして調節することが大切です。

また、ウィスパーボイスを出すときに、大きな声を出すのはNGです。無理に大きな声を出すと喉に負担がかかってしまうため注意が必要です。ウィスパーボイスは、誰でも比較的簡単に出来る声なので、ぜひチャレンジしてみてください。

6. **ボーカルフライ（エッジボイス）**は、力強さをもちながらもシャープな印象を感じさせる声質を指します。キャラクターのクールさや切れ味を演出する際に使用されることが多く、特に、クールなヒーローやビジネスシーン、アクの強いキャラクターなどに活用されます。

エッジボイスを身につけるためには、声帯の位置を意識する必要があります。声帯は、喉の奥にある二つの筋肉で、息を出すときに振動して声を作ります。

声帯の位置は、高くも低くもなく中央にあるのが理想です。高すぎるとキンキンした声になりますし、低すぎるとブーンとした声になります。中央にあるときは、自然で快適な声になります。

自分の声帯の位置を確認する方法の一つの方法は、「ん」という音を出してみることで、「ん」という音は、喉の奥で作られる音なので、声帯の位置を感じやすいです。

「ん」という音を出しながら、喉に手を当ててみてください。手に振動が伝わってくる場所が声帯の位置です。この位置を覚えてお

きましょう。

次に、声帯の縁に力を入れる方法を学びましょう。声帯の縁とは、声帯の両端の部分です。この部分に力を入れると、声帯が細くなって振動しやすくなります。これがエッジボイスのポイントです。

では、声帯の縁に力を入れる方法は何か。一つの方法は、「ひい」という音を出してみる事です。「ひい」という音は、声帯の縁に力を入れると出やすい音です。「ひい」という音を出しながら、喉に手を当ててみてください。

手に強い振動が伝わってくると、声帯の縁に力が入っている証拠です。この感覚を覚えておきましょう。

7. **ミックスボイス**は、地声と裏声が混ざったかのような声質です。ミドルボイスと似ていますが、ミドルボイスは地声寄りなのに対し、ミックスボイスはやや裏声寄りといわれています。ミックスボイスよりも柔らかい声質なので、違った表現が可能です。声優は上記7つの声質をうまく使い分け、キャラクターの魅力を最大限に引き出しています。

ミックスボイスを出すコツは「声帯は締め」「喉を開く」です。声帯と喉は似ていますが、違います。

裏声を鼻腔共鳴→喉を開く→声帯を締める、この3つの条件がそろうことで、ミックスボイスの完成となります。

ミックスボイスを安定して出すためには、喉を開いた状態を保つことが重要です。喉が開いていると、空気がスムーズに流れ、声が自然に響きやすくなります。

喉を開く練習は、口を大きく開けて「アー」と声を出しながら、喉の奥が広がる感覚を意識することが効果的です。この練習を行うことで、圧迫感なく声を発することができ、ミックスボイスのクオリティを向上させることが可能になります。

いかがですか。文章だけでは、なかなか理解が深まりません。YouTubeなどで画像を見たり、音声を聞いたりすると分かりやすいかもしれませんね。

スロバキア ワインショップ & バー デュファム

【所在地】 大阪市北区堂島1-3-20 阪口ビル 1F
【電話番号】 06-6676-8150
【行き方】 北新地駅から175m／堂島アバンザより徒歩1分
【営業時間】 Shop 12:00～26:00／Bar：17:00～26:00／お鮓：17:00～23:00
【定休日】 日曜、祝日定休
【URL】 <https://mighty-wine.com/>

スロバキアという国をご存じですか。以前はチェコ・スロバキアと呼ばれていましたが、協議によりチェコとスロバキアの2つの国に分かれました。

オーストリアから国際列車で国境でもあるドナウ川を渡り入国しました。スロバキアの旅の途中、フェリーでとある島へ渡った時の事です。帰りの時間を放送していたと思うのですが、時間になれば皆が戻るだろうと、安心して散策を楽しんでいました。

ところが、船乗り場へ戻ってみるとフェリーは岸をぐんぐん離れていきます。もう一人、日本の青年も遅れたみたいです。これは大変と、2人で大声で「お～い、お～い」と叫び大きく手を振りました。それでもぐんぐん離れていきます。ここで諦めると今日中に帰れなくなると、手振りと声を張り上げ続けていると、沖でピタッと止まりました。ここが勝負と手を振り続けると、船側も迷っていたのか、少し時間をおいた後、岸へ戻ってきてくれました。さぞかし怒られると覚悟して小さくなって船に乗り込んだのですが、拍手で迎えられ、大勢の人から「よかったね」と声をかけられました。何という優しい国民性かと感謝しました。

スロバキアを旅行先に選んだのは、その前の年にイタリアで知り合った青年と話が弾み「来年はスロバキアで会おう」と意気投合、ローマで分かれました。

約束の日に観光客が集まりそうな所をうろうろしたのですが、会うことができません。比較的小さな国とはいえ、ブラチスラバは首都です。落ち合う場所を指定しておけばよか

ったと反省したのですが間に合いません。駅付近を探し、城や観光客が行きそう場所を探したのですが会うことができません。いつしか夜になったので食事を取ることにしました。ヨーロッパの人は屋外が好きですね。僕も大好きです。夏は室内より屋外が気持ちがいいです。

その食事場面をのぞき込む人が現れたのです。顔を上げると、イタリアで約束した彼でした。本当に驚きました。その時の嬉しかったこと、楽しい時間を過ごしたのは言うまでもありません。

そのスロバキアのワインの店がアバンザの裏にあり、目立つところなのに隠れ家のような店です。



スロバキアのワインってあまり聞きなじみがないかもしれませんが、実は2,000年以上前からブドウ栽培がされていたという歴史のあるワイン生産国です。

ショップとバーが併設されている店で、カウンターでワインを味わうことができます。ふくよかで、味わいあるおいしいワインでした。店のスタッフに教えてもらったのですが、ワインバーの奥に小さな秘密のスペースがあって、スロバキアワインとともに、寿司が楽しめる部屋があるそうです。主役は鮓ではなく、飲んで頂きたいワインに鮓のネタを合わせ、ソムリエと鮓職人の二人三脚で提供されているようです。知る人ぞ知る本当の隠れ家です。予算は1人15,000円ほどで、何か記念日に利用されるのはいかがでしょうか。

秋の日差しと紫外線

サービス部

ふくだ なおき
福田 直樹

今年は例年に増して厳しい暑さの夏でした。この号が出る頃にはさすがに涼しくなっていると思いますが、目に対する紫外線のリスクにはまだまだ注意が必要だそうです。

・なぜ秋の日差しが要注意なのか？

夏に比べて日差しの強さはましになったと感じられるのですが、秋は夏に比べて太陽の位置が低くなるため、低い角度から日差しを浴びることになります。その結果、目に入る紫外線の量が多くなってしまいます。

また、夏の強烈な日差しの中の外出では日傘や帽子、サングラスなど対策をしていたのに、日差しが和らいで感じることで対策がおろそかになることも紫外線を多く浴びる原因となります。

だからこそ、秋の日差しには意識して注意すべきだといえます。

・目の日焼けは病気につながることも

強い紫外線を浴びることで目には急性の炎症のようなことが起こると言われています。紫外線が原因で様々な症状が出る可能性があります。

1. 瞼裂斑（けんれつはん）

白目の一部がシミのように黄色く盛り上がる症状

2. 翼状片（よくじょうへん）

白目が黒目の中まで侵入してしまいます。翼状片は視力に影響することもあります。

また、強い紫外線を長期間浴びると早いうちから老眼や白内障を発症しやすくなります。

・紫外線への対策

特別なことはなく、つばの長い帽子や紫外線カット機能のあるサングラスをかけるといった基本的な対策が有効です。また長時間、外にいた場合は目を冷やすことも効果的だそうです。

・熱中症と白内障

紫外線とは異なりますが熱中症も白内障のリスクを高める要因と考えられています。

ある研究によると60代では熱中症になったことがない人の白内障の発症率が5.3%なのに対し、なったことがある人の発症率は、22%でおよそ4倍になっています。

その理由としては熱中症になることで短時間ながら目の中の温度がとて高くなり、水晶体の温度も高くなる。水晶体はタンパク質でできているので熱の影響を受けて変性し、水晶体が濁ってしまうそうです。

熱中症に限らず、目の温度を上げる原因となるのが太陽光の中の赤外線です。そのため赤外線をカットするサングラスやメガネをかけることで眼内温度の上昇をある程度予防できるそうです。

厳しい暑さで体全体に疲れやダメージがあるこの季節、涼しくなってほっとひと息のついでに、身体のケアに気をつけてみてはいかがでしょうか。

※この記事はYahooニュースほか、複数のwebページから引用、再構成しました。

漢字あれこれ（その22）

対面リーディングボランティア

さわ い みのる
澤井 稔

お天気の言葉

日本は、季節や天候の移り変わりが大変バラエティーに富み、お天気に関する言葉が豊富です。「晴れ」にも「日本晴れ」「五月晴れ」「梅雨晴れ」「秋晴れ」「夕晴れ」等色々あります。先ずは天気・天候・気象に関する言葉を集めてみましょう。

①霧=もや（「霧／きり」に似たものですが、霧より薄いものを言います。）

②雲が降る=みぞれがふる（「霰／あられ」と間違いやすいですが、雪が解けて雨混じりに降るのが霰で、氷の粒状に降るのが霰です。又霰より大きいのが「雹／ひょう」です。）

③氷雨=ひさめ（冷たい雨です。）

④雪催い=ゆきもよい（今にも雪が降りそうな天気のことです。）

⑤陽炎=かげろう（春の晴れた日に、気体がゆらゆら揺れる現象のことです。「糸遊／いとゆう」とも呼ばれました。）

⑥早魃=かんばつ（日照りのことです。「魃」は、中国神話で、日照りをもたらす神様の名前です。）

⑦東雲=しののめ（東の空が白む頃。或いは、明け方に東の空にたなびく雲のことです。）

⑧朧月夜=おぼろづきよ（月がほのかにかすんで見える夜です。）

⑨鱗雲=うろこぐも（まだら状や波状になった雲のことです。「翳雲／いわしぐも」「鯖雲／さばぐも」という別名も有ります。）

⑩小春日和=こはるびより（小春は陰暦十月の別名で、晩秋から初冬の頃、春のような陽気になる日のことです。）

⑪俄雨=にわかあめ ⑫小糠雨=こぬかあめ
⑬時雨=しぐれ ⑭野分=のわけ・のわき

その他、ちょっと視点を変えて、昔から人から人へと伝わる、風土と気象にまつわる言葉を見てみましょう。

①春の雨

葉花雨(ようかう) 発火雨(はっかう)
雪解雨(ゆきげあめ) 春霖(しゅんりん)
蛙目隠(かえるめかくし)

②春の風

和風(わふう) 風炎(ふうえん)
東尋坊(とうじんぼう) 協風(きょうふう)
東風(こち)

③夏の雨

白雨(はくう) 所降(ところぶり)
天泣(てんきゅう) 銀竹(ぎんちく)
神立(かんだち)

④夏の風

荷風(かふう) 笥流し(たけのこながし)
土用間(どようあい) 日方(ひかた)
麦嵐(むぎあらし)

⑥秋の雨

凄雨(せいう) セタ流し(たなばたながし)
酒涙雨(さいるいう)
黄雀雨(こうじゃくあめ)
通草腐らし(あけびくさらし)

⑦秋の風

秋声(しゅうせい) 金風(きんぷう)
雁渡し(かりわたし) 芋嵐(いもあらし)
悲風(ひふう)

⑧冬の雨

片時雨(かたしぐれ) 風花(かざはな)
鬼洗い(おにあらい) 御降り(おさがり)
村時雨(むらしぐれ)



おしらせ

・今年日本ライトハウス展を12月に開催します

毎年秋に開催している西日本最大級の視覚障害者用具・機器展示会の「日本ライトハウス展」ですが、今年は12月6日(金)、7日(土)に開催します。場所は昨年と同じく天満橋のOMMビル2階展示場です。

今年も様々な視覚障害者用具や機器、アプリケーション等の出展と特別ステージを企画しています。

詳細は次号に掲載いたします。どうぞお楽しみに。

・オープナーについて

毎月1回第2土曜日(月によっては第3土曜日)に開催している「オープナー」は、どなたでも参加していただける館内見学会です。時間は13時30分から約2時間で、普段はご覧頂けない製作部門などへもご案内します。参加費用は無料です。

参加ご希望の方は対面担当、または総務係(06-6441-0015)までご予約をお願いいたします。館内見学をしたことがないという方はもちろん、お知り合いで情報文化センターの活動にご興味のある方がおられましたら是非、ご案内ください。

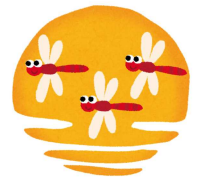
「〇〇の秋」。今年は「待ちに待った秋」。涼しいだけであとは何でもいいと思いつつ、秋の味覚は外せません。たくさん味わって夏の疲れを吹き飛ばしましょう。(F)

⑨冬の風

玉風(たまかぜ) 節東風(せちごち)
風巻(しまき) 神渡し(かみわたし)
鎌風(かまかぜ)

数々のお天気言葉を紹介しましたが、ほんのほんの一部です。

最後に「天晴れ」は「あっぱれ」と読み、物事に感心した時等に、発する言葉です。周知の事実ですが、この辺りが日本語の漢字の妙でしょうか。



日本ライトハウス 情報文化センター

550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2

06-6136-7704 (対面専用)

06-6441-0039 (サービス部)